

手術を受ける患者様へ 【ロボット支援前立腺全摘除術】

2024/12 新規
パスNO.1110

氏名 様 ID:
主治医 パス開始日:
担当看護師

手術は 月 日 曜日 時 分からです
*緊急手術などで予定時間に変更になる場合があります、ご了承ください
*ご家族の方は手術予定時間の1時間前に病棟へお越しください

経過	手術日			術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目(退院)
	入院日(手術前日)	手術前	手術中							
目標	入院、手術について理解できる 手術の準備が整っている	安心して手術に臨むことができる		麻酔の副作用(頭痛、吐き気)が出現することなく経過する	痛みが治まっていて、歩行できる		活動範囲が広がり、水分摂取の必要性が理解できる		尿漏れに対する対処が理解できる	日常生活の注意点が理解できる
治療	おへその汚れを取ります 弾性ストッキングを渡します 両足に印をつけます	6時又は10時に洗腸があります 弾性ストッキングをはきます	全身麻酔で眠っています 創部に管(ドレーン)が入ります	心電図モニターをつけます フットポンプを装着します 酸素吸入を行います (翌日回診まで) 創部にドレーンが入っています	午前中に回診があります 酸素マスク、心電図、 歩行ができれば フットポンプを外し 弾性ストッキングを脱ぎます		午前中に回診があります 医師の判断で創部の管(ドレーン)を抜きます			
検査	医師が必要と判断した時、 血液検査を行います				血液検査 レントゲン撮影		血液検査		尿の管を抜く検査をします 検査の結果に応じて、尿の管を抜きます	
検温	入院時	6時または10時頃		頻回	3時・朝・昼・晩	朝・昼・晩	14時			6時
内服点滴	持参薬を確認します 医師の指示で内服薬を続けます お薬とお薬手帳又は説明書をお持ちください 寝る前に下剤、胃薬を飲みます	朝の薬は医師の指示で 中止になることがあります 6時頃胃薬を飲みます 朝、お渡しします 6時又は10時から点滴を始めます		止血剤と抗生剤の 点滴を行います	医師指示により持参薬を再開します		点滴が終了したら 針を抜きます			尿もれの状況により、 飲み薬が出る場合があります
食事	昼から常食 (必要に応じて治療食を提供します) 21時以降食べられません 水分(水・お茶)は飲めます	7時又は10時以降は 水分も飲めません うがいはできます		絶飲食 うがいはできます	午前中から水分が始まります (看護師が初めに確認します) 術後からは毎日水分を 1L~1.5L/日飲んでください 昼より常食 (必要に応じて 治療食を提供します)		朝・昼・夕 常食 (必要に応じて治療食を提供します)			
安静度	自由に動けます	できるだけお部屋で お過ごしください		ベッド上安静 寝返り・膝立てはできません	午前中 ベッド上安静 許可が出れば午後より看護師の 付き添いのもと室内歩行可		自由に動けます			
リハビリ	骨盤底筋体操と動作方法の 指導を行います(平日)								尿の管が抜けたら 骨盤底筋体操と動作方法の 指導を行います	
排泄	トイレに行けます	7時又は10時に 洗腸します			尿の管が入ります 尿は管を通して自然に出できます				検査後、尿の管が抜けたら、 尿量を測定します 尿が漏れたバットの重さも計測します	
清潔	シャワー浴ができます 爪は切ってください				体を拭いて、 寝間着に着替えます	医師の許可が出たら シャワー浴が できます				
説明	◎入院、手術準備などについて説明 をします 手術室看護師、薬剤師、場合 によって麻酔科医師の診察があります ◎アレルギーの有無をお伝えください ◎手術に必要なものを確認します ・同意書 ・バスタオル ・ストロー又は薬のみ ◎髭を剃ってください	◎手術時間は変更になることが あります ◎義歯、装飾品、貴重品は家族に 渡してください ◎歩いて手術室へ行きます ◎手術中、家族の方は談話室が病室 で お待ちください 病院用PHSをお渡しします		◎手術後、医師より家族の方に説明 があります		◎陰部洗浄について説明 します 清潔を保つために毎日 行ってください		◎管を抜く検査について説明 します。バットをお 渡しします	◎退院後の生活の留意点を説 明します	◎次回受診日について 説明します ◎会計書、診察券をお 渡しします

*不明な事がありましたらいつでもお聞きください *外来診察医師と入院中の主治医は異なる場合があります 豊橋市民病院 泌尿器科